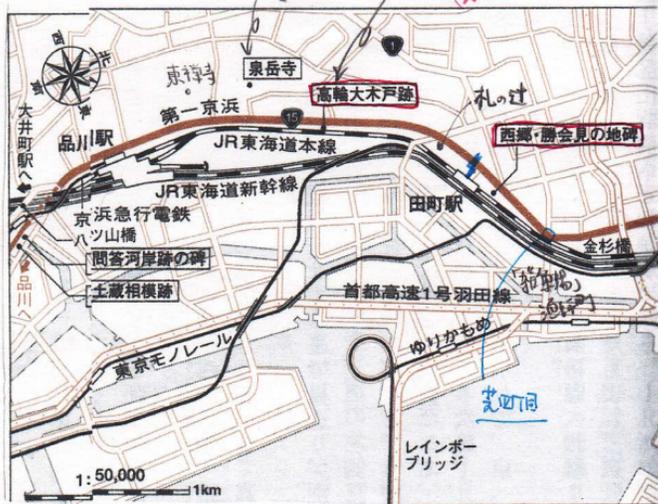


<日本橋~品川> 7.8km



(慶長6年(1601)徳川家康により東海道に伝馬制が敷かれ、陸行道が整備された。これは東海道五十三次の始り。その翌年の慶長7年、全国の大名が労働力を提供しおこなれた橋が日本橋。以来、数度となく焼失と修復を繰り返す。現在の橋は明治44年(1911)に、これまでの木の橋から、石の橋へと生まれ変わった。橋の中央に日本国道路元標のプレートが埋め込まれている。架橋10周年を記念して、平成3年(1991)には、橋の両端に、花の広場と姫広場、元標の広場、港の広場と整備し、25年に平成8年(1996)には、装飾品の補修工事があり、美しくよみがえった。

港の広場... 元の晒し場跡 (元晒し場跡)
 花の広場... 日本橋由緒記
 埋め込まれた京橋川の名残
 記念碑として残った京橋の礎石